

【事業概要】

水産資源調査・評価推進委託事業（我が国周辺水産資源：
資源調査・評価）－マチ類の生物情報収集－
（試験研究費（受託事業））

吉田 聡*, 秋田雄一, 海老沢昭彦, 島田和彦

マチ類の資源回復に向けて、沖縄県、鹿児島県および国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所（旧西海区水産研究所）が共同で、2005年より南西諸島海域においてマチ類の資源管理の取り組みを実施している。2020（令和2）年度もこれまでと同様に、県内のマチ類の水揚げの6割以上を占める沖縄県泊魚市場有限責任事業組合鮮魚卸売市場において、漁場別の漁獲量や体長組成など漁業情報の収集を実施した（調査回数：136回、平均11回/月）。本調査で得られたマチ類の漁業情報は、水産資源研究所が行う令和3年度マチ類（奄美・沖縄・先島諸島）の資源評価に活用され、わが国周辺水域主資源の評価（水産資源評価結果：

https://abchan.fra.go.jp/hyouka/backnumber/?search%5Btype%5D=%E3%83%9E%E3%83%81%E9%A1%9E&search%5Byear_start%5D=2020&search%5Byear_end%5D=2021にて報告されているので、詳細は割愛する。

また、マチ類の移動生態明らかにするために、北タイキウ曾根および第2多良間堆、イチャビラーにおいて、漁業調査船「図南丸」により底立延縄を用いた調査操業及び沖縄県本部地先海域において一本釣による調査を行った。



写真 底立延縄の揚縄状況（左）と釣獲された魚の測定状況（右）

*E-mail : yoshidsa@pref.okinawa.lg.jp 本所（現所属：沖縄県農林水産部水産課）